

メリット



高精度

IXARC ロータリーエンコーダは、磁気式と光学式のそれぞれの検出方式で最大16ビットの分解能を提供します。TILTIX 傾斜センサは、広い温度範囲で 0.1°の静的精度レベルを提供します。

- ▶ 分解能 16 ビットのエンコーダ
- ▶ 精度0.1°、分解能0.01°の傾斜センサ

機能安全性

POSITALは、さまざまな機械的オプションを備えた多様な冗長エンコーダも提供しています。これらのエンコーダは、光学式と磁気式の検出方式からなる複合測定設計を採用しています。IXARC 冗長エンコーダを安全機能のPLCと組み合わせた場合は、パフォーマンスレベル/ PL d Cat. 3に準拠するアプリケーションに適しています。POSITALは安全面を考慮し、多様な冗長性をキーワードとして、磁気式と光学式のセンサ技術を組み合わせて使用しています。

- ▶ 冗長エンコーダ設計
- ▶ 豊富な電気インターフェース

タフな作業用のタフなセンサ

エンコーダも傾斜計も、保護等級 IP69Kまでの堅牢な設計が可能です。ステンレススチール筐体品もご用意しています。エンコーダは最大300Nの軸荷重に耐え、最大300gの耐衝撃性を備えています。ほとんどの製品は-40℃～+85℃の温度範囲に対応しています。

- ▶ IP69Kまでの高い保護等級
- ▶ 最大300Nの荷重と最大300gの衝撃に対応

防爆エンコーダと傾斜センサ

POSITALの防爆センサは、潜在的に危険なレベルの爆発性ガスや粉塵が存在する環境で安全に動作するように設計されています。IXARC ATEX エンコーダは、IECEX および ATEX 指令に準拠しており、ゾーン 1 および 21 に設置できます。

- ▶ 様々なアプリケーションとゾーンに対応する IECEX および ATEX 指令に準拠
- ▶ 豊富な電気インターフェース



OVER 50 YEARS EXPERIENCE WITH POSITION SENSORS



FRABAグループ

FRABAは、モーションコントロールとインダストリアルオートメーション市場に先進的な製品を提供することを目的とした企業グループです。POSITALは、50年以上にわたって工業用ロータリーエンコーダのトップメーカーとして活躍してきましたが、傾斜センサやリニアモーションセンサにも事業を拡大してきました。FRABAグループは、製品設計と製造プロセスの革新者であり、インダストリー4.0の先駆者でもありません。

製品

POSITALの製品は、先進的な生産設備で製造されています。コンピュータを使った半自動生産システムは、注文から組み立て、テスト、最終納品まで、個々のデバイスを追跡します。何十万通りものユニークな構成があっても、標準的な製品であれば、受注後5営業日以内に出荷することができます。

歴史

FRABAグループの歴史は、前身であるFranz Baumgartner elektrische Apparate GmbHがリレーを製造するためにドイツのケルンに設立された1918年にさかのぼります。1973年、FRABAは最初の非接触式ソリューションとしてマルチターンエンコーダのひとつを発表しました。それ以来、ロータリーエンコーダをはじめとするセンサ製品の開発において、トレンドをリードしてきました。

サービス

POSITALのユニークなオンライン製品検索は、専門的な知識を必要とせず、多種多様なソリューションへのアクセスを提供しています。何十万ものデータシートが11の言語で提供されており、簡単に閲覧できます。従来のカスタマイズのやり方は、この新しいアプローチに大きく取って代わられました。さらに、経験豊富なエンジニアが欧州、北米、アジアの異なる場所に配置されており、販売店や顧客の大規模なグローバルネットワークをそれぞれのタイムゾーンで、また多くの言語でサポートしています。

POSITALのネットワークに参加しましょう!



www.posital.jp

ケルン (EMEA) - ハミルトン (米州) - シンガポール (APAC) - 上海 (中国)

農業機械に適した設計



農業機械に最適な速度

At Your Fingertips
1,000,000 Sensors

ワンストップエンコーダショップ



高精度 IXARC ロータリーエンコーダ

ファクトリーオートメーションから農業機械に至るまで、モーションコントロールアプリケーションには、機械部品の位置に関する正確でリアルタイムの情報が重要です。IXARC ロータリーエンコーダの製品ラインは、ジョイント、トランスミッションシャフト、プーリーなどの速度変動を正確かつ確実に測定します。シンプルでアナログ接続やインクリメンタル出力から、高度なフィールドバスや産業用イーサネットインターフェースまで、さまざまな電気接続が可能です。

- ▶ 最大分解能16ビットの数千種のアブソリュート及びインクリメンタルエンコーダ
- ▶ 豊富な電気インターフェース

精密な工業用TILTIX傾斜センサ

傾きや傾斜を正確に測定することは、モーションコントロールや安全システムにとって非常に重要です。3次元MEMS技術と重力を利用したこのセンサは、可動部が露出しないため、設置が容易で環境保護にも優れています。

- ▶ 0.1° の高精度、0.01° の分解能
- ▶ 測定範囲 ±90° (2軸) または360° (1軸)

TILTIX傾斜計で時間とコストを節約

急激な加速度を伴うダイナミックな動きには、POSITALのダイナミックTILTIX傾斜センサを使用する必要があります。この傾斜センサは、3D MEMS 加速度計と3D MEMSジャイロ스코ープをベースにしています。スマートなアルゴリズムが加速度センサとジャイロ스코ープの信号を組み合わせて、加速度（装置の急激な動きなど）、振動、衝撃の影響を排除します。

- ▶ 精度：ダイナミック0.5°、スタティック0.3°、分解能0.01°
- ▶ 測定範囲：±90° (2軸) または360° (1軸)

LINARIX センサによる多用途リニア測定

多くのアプリケーションでは、システム制御や安全確保のためにリニアモーションを監視する必要があります。長さ1~15m (3フィート~45フィート) のLINARIXドローワイヤーセンサは、アプリケーションの要件を満たすために多くの構成で利用可能です。アナログ、フィールドバス、イーサネットを含む多様な出力、頑丈なハウジング、コンパクトなデザインなどの選択が可能です。

- ▶ 最大2µmの分解能と最大15mの測定長でアブソリュート位置を測定



移動式プランターとシーダー

POSITALのアブソリュートエンコーダとインクリメンタルエンコーダの製品ラインは、農業機械の複数のアプリケーションに使用されています。特に角度確認と速度は、農業アプリケーションに必要な2つの重要なデータポイントです。POSITALエンコーダは、高分解能の位置フィードバックを提供し、自律的および半自律的な収穫を保証します。さらにエンコーダの中空シャフトと回転防止クランプスプリングは、機械の速度と信頼性の向上を可能にします。これらの特徴は、プランターやシーダーの速度測定に役立ちます。その他の用途としては、Field-IQ可変レートを用意したコントローラを搭載した散布機、農業機械や農業設備のモードやエリアの事前選択などがあります。

- ▶ IP67センサ、高衝撃・高振動に対応した高耐圧・高耐熱センサ
- ▶ Field-IQまたはISOBUSコントローラとの容易な通信



位置・速度制御用IXARCロータリーエンコーダ

- ▶ 最大200 Nの軸荷重耐性
- ▶ 耐塩水性 / IP69K
- ▶ ステンレススチール筐体もご用意
- ▶ CANopen アブソリュートエンコーダ
- ▶ Field-IQコントローラとの通信



プランターおよびスプレーヤーのブーム高さ制御

生産性、精度、安全性を向上させるため、傾斜センサはブーム、ディッパーステム、回転プラットフォーム、バケットに取り付けられ、作業中の位置を監視します。保護等級IP69Kの堅牢な金属製ハウジングで保護されており、高い衝撃や振動に耐え、非常に広い温度範囲で使用できます。

- ▶ ダイナミックで高精度なスタティック傾斜センサ
- ▶ CANopen、J1939、アナログインターフェース
- ▶ 最大保護等級IP69K
- ▶ 動作温度：-40° C ~ +75° C (-40° F ~ +167° F)



TILTIX傾斜センサ

従来の静的傾斜センサは、より高い精度レベルを提供する一方、動的傾斜センサは、非常に動的な動作条件下でわずかに精度が低下するものの、安定した出力を提供します。この2つを組み合わせることで、両タイプの利点を利用することができます。

ANALOG CANopen SAE J1939

動的傾斜センサと従来の傾斜センサの比較

この図は、ジャイロ스코ープを内蔵した動的傾斜センサと、従来の静的傾斜センサの出力を比較したもので、掘削機に動的な動きを与えたときの性能を示しています。

